

MGC

2025年度 第3四半期
決算説明資料

 三菱ガス化学株式会社

2026年2月10日

証券コード
4182



本日の決算説明のポイント

1. 2025年度 第3四半期実績

前年同期比

売上高	5,494億円	▲337億円
営業利益	378億円	▲74億円
親会社株主に帰属する 四半期純利益	▲261億円	▲617億円

特別損失: 下記減損損失を計上

- オランダ MXDAプラント (▲534億円)
※連結子会社 MGC Specialty Chemicals Netherlands B.V. (MSCN)にて計上
※第2四半期計上分▲502億円に加え、第3四半期に▲32億円を追加計上
- 中国 過酸化水素プラント (▲52億円)
※連結子会社 泰興菱蘇機能新材料有限公司(泰興菱蘇)にて計上

売上高

- + BT材料の販売数量増
- ポリカーボネート(PC)・メタノール市況下落
- オルソキシレン(OX)チェーンからの事業撤退

営業利益

- + BT材料の販売数量増
- メタノール・PC市況下落による損益悪化
- 無機化学品の能力増強に伴う固定費増
- メタキシレンジアミン(MXDA)系製品の損益悪化

2. 2025年度 通期業績予想

前回予想比

売上高	7,300億円	-
営業利益	470億円	+30億円
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲180億円	▲10億円

特別利益: 第4四半期に非事業用資産の売却益を織り込み

売上高

- + BT材料の販売数量増
- MXDA系製品の販売数量減

営業利益

- + BT材料の販売数量増
- メタノール市況下落による採算悪化

配当方針

- 中間配当 50円 (実績)
- 期末配当 50円* (予想) * 前回予想から変更無し

※ 本ページ以下に記載の数値は、金額表示は単位未満切り捨て、%表示は一株当たり指標。業績前提は単位未満四捨五入で表記しております。

まず本日の決算発表のポイントについてご説明いたします。

1点目の2025年度 第3四半期実績につきましては、BT材料の販売は好調に推移しましたが、ポリカーボネートやメタノールの市況下落、オルソキシレンチェーンからの事業撤退などにより、対前年同期比で減収減益となりました。

また、特別損失として減損損失を2案件、第3四半期に計上いたしました。1件目はオランダMXDAプラントについて、第2四半期に計上した▲502億円に加え、第3四半期にて▲32億円を追加計上しました。2件目は中国過酸化水素プラントについて▲52億円計上いたしました。

2点目の 2025年度 通期業績予想につきましては、メタノール市況の低迷が継続しているものの、BT材料の販売好調を織り込み、営業利益は前回予想を上回る見通しです。当期純利益は第4四半期にて非事業用資産の売却に伴う特別利益の計上を見込んでいるものの、先ほどご説明した固定資産の減損損失により、前回予想を下回る見通しです。

なお、配当方針については前回予想から変更無く、期末配当50円を予定しております。

1 | 2025年度 第3四半期 決算概要

2 | セグメント別業績概要

3 | 2025年度 業績予想

はじめに

「2025年度 第3四半期 決算概要」

次に、「セグメント別 業績概要」、

続いて「2025年度業績予想」という順でご説明いたします。

1 | 2025年度 第3四半期 決算概要

2 | セグメント別 業績概要

3 | 2025年度 業績予想

はじめに「2025年度 第3四半期 決算概要」についてご説明いたします。

2025年度 第3四半期 業績サマリー



売上高:旺盛な需要を受けて電子材料の販売数量は増加したが、PC及びメタノール市況の下落、OXチェーンからの事業撤退等により減収
 営業利益:上市市況下落に加え、無機化学品での能力増強に伴う固定費増加、MXDAとその誘導品での競争環境の激化等により減益
 経常利益:営業外損益での為替差損益は改善したが、営業利益の減益とメタノール市況下落による持分法損益悪化等により減益
 四半期純利益:経常利益の減益に加え、海外連結子会社*における減損損失計上により純損失

*オランダ MXDA製造子会社(MSCN)… 2Q ▲502億円、3Q ▲32億円

中国 過酸化水素製造子会社(泰興菱蘇)… 3Q ▲52億円

単位:億円	2024年度 3Q累計	2025年度 3Q累計	増 減	
			金額	%
売上高	5,831	5,494	▲337	▲5.8
営業利益	452	378	▲74	▲16.5
持分法利益	73	43	▲29	▲40.2
経常利益	538	481	▲56	▲10.6
親会社株主に帰属する四半期純利益	356	▲261	▲617	-
一株当たり四半期純利益(円/株)	178.18	▲134.34		
為替レート(JPY/USD)	153	149		

※ ページ以下に記載の数値は、金額表示は単位未満切り捨て、%表示・一株当たり指標・業績前提は単位未満四捨五入で表記しております。

5ページをご覧ください。

2025年度第3四半期業績のサマリーを示しております。

売上高は、旺盛な需要を受けて電子材料の販売数量が増加しましたが、PCやメタノール市況の下落、オルソキシレンチェーンからの事業撤退等により、▲337億円減収の5,494億円となりました。

営業利益は、無機化学品での能力増強に伴う固定費の増加、MXDAとその誘導品での競争環境の激化等により減益となり、▲74億円減益の378億円となりました。

経常利益は、営業外損益での為替差損益は改善しましたが、営業利益の減益とメタノール市況下落による持分法損益悪化等により減益となり、▲56億円減益の481億円となりました。

四半期純利益は、海外連結子会社における減損損失計上により▲617億円減益の▲261億円の純損失となりました。

2025年度 第3四半期 営業外損益・特別損益

単位:億円	2024年度 3Q累計	2025年度 3Q累計	増 減	
営業外損益	85	103	+18	差異の内容
持分法による投資損益	73	43	▲29	● 持分法損益 ▲23
金融収支	23	28	+5	GEC ▲23
為替差損益	2	45	+42	機能化学品 ▲5
その他	▲13	▲13	▲0	
特別利益	23	55	+32	
固定資産売却益	-	35	+35	
投資有価証券売却益	8	12	+3	
受取保険金	1	5	+3	
その他	12	2	▲10	
特別損失	▲43	▲609	▲566	差異の内容
減損損失	▲1	▲594	▲593	● 減損損失 ▲593
損害補償損失	▲21	▲5	+15	オランダ MXDAプラント ▲534
事業構造改善費用	▲7	▲5	+2	中国 過酸化水素プラント ▲52等
貸倒引当金繰入額	▲2	▲4	▲2	
その他	▲11	-	+11	
特別損益合計	▲20	▲554	▲533	

※ 本表の増減は対損益増減を示しております。

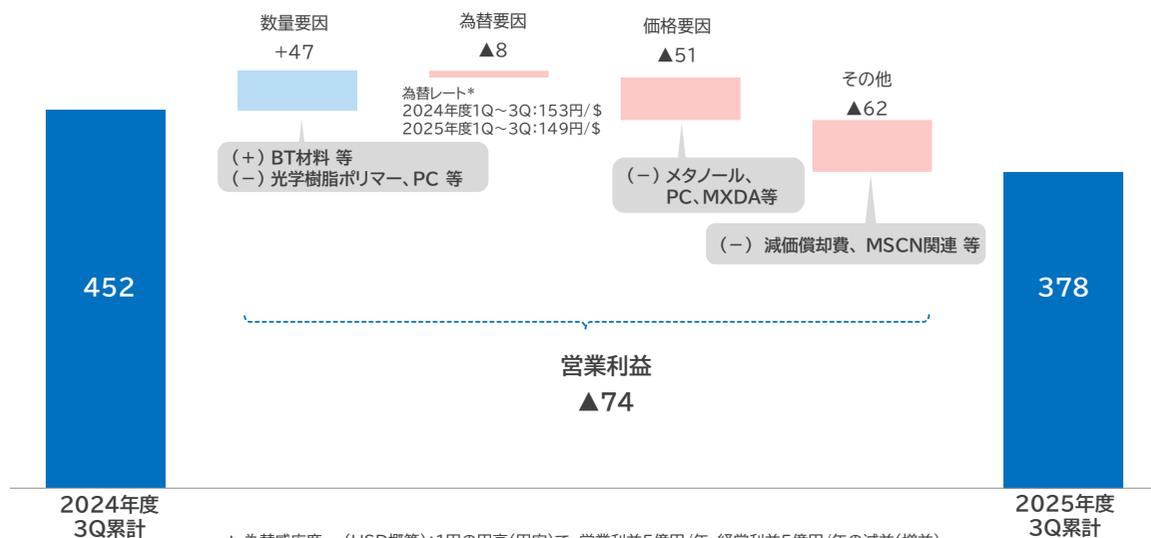
6ページでは、営業外損益、特別損益の内訳を示しております。
 主な差異要因についてご説明いたします。

まず営業外損益につきまして、持分法損益は、海外メタノール生産会社の損益悪化などから減益となりましたが、金融収支や為替差損益の改善などにより、18億円の増益となりました。

続いて、特別利益は、固定資産売却益や投資有価証券売却益などにより、合計で32億円増益となりました。特別損失は、海外連結子会社の減損損失計上などにより、合計で566億円減益となっております。

2025年度 第3四半期 営業利益 増減要因(前年度比)

(単位:億円)



* 為替感応度 (USD概算):1円の円高(円安)で、営業利益5億円/年、経常利益5億円/年の減益(増益)
(EUR概算):1円の円高(円安)で、営業利益1億円/年、経常利益1億円/年の減益(増益)

7ページは当第3四半期の営業利益の増減要因を前年同期との比較で示しております。

数量要因は、BT材料の販売数量の増加、光学樹脂ポリマーの販売減少、為替要因は、円高の進行による減益、価格要因は、メタノール、PC市況の下落の他、競争環境の激化に伴うMXDAの販売価格下落が影響しております。

その他要因には、成長投資に伴う償却費の増加の他、MXDA欧州プラント関連費用の増加などが含まれております。

1 | 2025年度 第3四半期 決算概要

2 | セグメント別 業績概要

3 | 2025年度 業績予想

続いて、セグメント別業績概要をご説明します。

2025年度3Q累計実績

売上高:

メタノール市況の下落やOXチェーンからの事業撤退等により減収

営業利益:

メタノールやMXDAおよび誘導品での損益悪化等により減益

経常利益:

メタノール市況下落による持分法損益悪化により減益

特別損失:

オランダ MXDA製造子会社 (MSCN)にて減損損失計上

※3Q計上分は、2Qにて未検収であった固定資産の減損と為替レートの変動によるもの

【営業利益差異要因】



9ページでは、グリーン・エネルギー&ケミカル事業についてご説明いたします。以降GEC(ジーイーシー)と表現させていただきます。

第3四半期実績について、売上高はメタノール市況の下落やOXチェーンからの事業撤退等により減収となりました。営業利益は、メタノールやMXDAおよび誘導品での損益悪化などにより、減益となりました。

また経常利益につきましても、メタノール市況下落による海外メタノール生産会社の持分法利益が悪化し、減益となっております。

特別損失については、オランダ MXDA製造子会社にて減損損失を計上しております。

下段には、前年同期比での営業利益差異要因を、滝グラフで示しております。後ほど、ご参照願います。

単位:億円	2024年度 3Q累計実績	2025年度 3Q累計実績	増減
売上高	2,444	2,166	▲ 278
天然ガス系化学品	1,747	1,613	▲ 134
芳香族化学品	703	556	▲ 146
調整	▲ 6	▲ 3	+ 2
営業利益	129	73	▲ 56
天然ガス系化学品	76	53	▲ 22
芳香族化学品	53	19	▲ 34
調整	▲ 0	0	+ 0
経常利益	183	93	▲ 90
天然ガス系化学品	104	53	▲ 50
芳香族化学品	79	40	▲ 39
調整	▲ 0	0	+ 0

※ 内訳は、主要製品群別セグメントを記載

		2025年度3Q累計実績 (2024年度3Q累計実績比)	
天然ガス系化学品	メタノール	➡	メタノール市況の下落により減収減益 (前期332ドル/MT→今期304ドル/MT)
	メタノール・アンモニア系化学品	➡	販売価格は下落したものの、MMA系製品の販売数量増加と固定費減少等により増益
	エネルギー資源・環境	➡	発電用LNGの販売数量減少により減収となったものの、ヨウ素の販売が堅調に推移し、営業利益はほぼ前年同期並み
芳香族化学品	MXDA* 芳香族アルデヒド ポリマー材料 *誘導品含む	➡	メタキシレンジアミンとその誘導品は、競争環境の激化による販売価格の下落、固定費の増加等により減収減益
	キシレン分離/ 誘導品	➡	OXチェーンからの事業撤退により損益改善となったものの、高純度イソフタル酸(PIA)の市況低迷により減収減益

10ページでは、GECの第3四半期実績について、前年同期比での業績動向を、主要事業別に示しております。

メタノールは、市況下落により減益となりました。(前期332ドル→今期304ドル)

メタノール・アンモニア系化学品は、販売価格は下落しましたが、MMA系製品の販売数量増加と固定費減少などにより増益となりました。

エネルギー資源・環境事業は、発電用LNGの販売数量減少により減収となりましたが、ヨウ素の販売が堅調に推移し、営業利益はほぼ前年同期並みとなりました。

MXDAおよびその誘導品につきましては、競争環境の激化による販売価格の下落、固定費の増加等により減収減益となりました。

2025年度3Q累計実績

売上高:

旺盛な需要によりBT材料等、電子材料の販売数量は増加したものの、エンジニアリングプラスチックの市況下落、販売数量減少等により減収

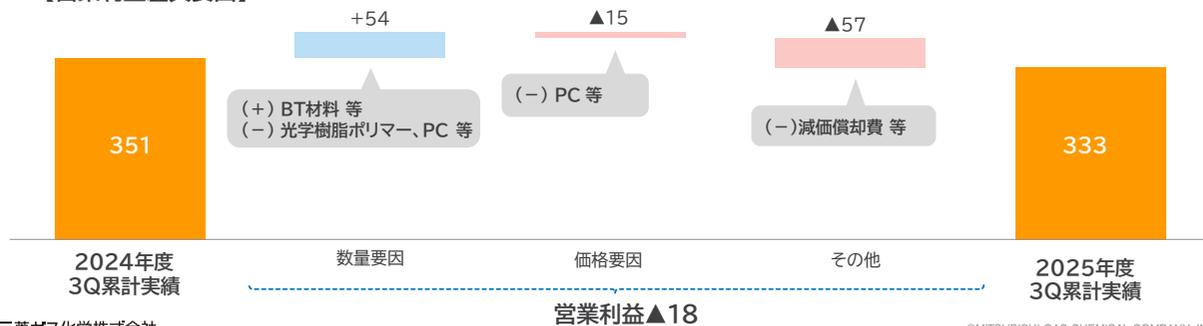
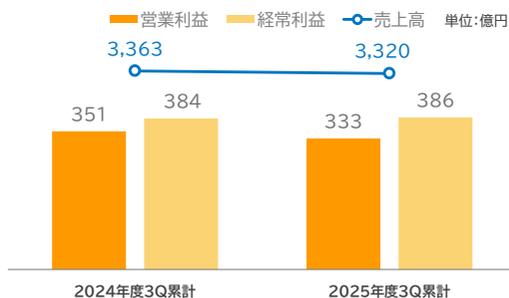
営業利益:

上記各要因に加え、無機化学品の固定費の増加、BT材料での品質対応強化に伴うコスト増加等により減益

特別損失:

中国 過酸化水素製造子会社(泰興菱蘇)にて減損損失計上

【営業利益差異要因】



続いて11ページ、機能化学品事業についてご説明します。

売上高は、BT材料等、電子材料の販売数量増加が増収要因となりましたが、エンジニアリングプラスチックの市況下落や販売数量減少等により、若干の減収となりました。

営業利益は、減収の各要因に加え、無機化学品の固定費の増加、BT材料での品質対応強化に伴うコスト増加等により減益となりました。

特別損失については、中国 過酸化水素製造子会社にて減損損失を計上しております。

下段に、機能化学品における当第3四半期の営業利益の増減要因を、前年同期との比較で示しております。後ほどご参照願います。

単位:億円	2024年度 3Q累計実績	2025年度 3Q累計実績	増減
売上高	3,363	3,320	▲ 43
機能化学品	2,816	2,600	▲ 215
特殊機能材	547	719	+ 172
調整	▲ 0	▲ 0	▲ 0
営業利益	351	333	▲ 18
機能化学品	238	169	▲ 68
特殊機能材	113	163	+ 50
調整	0	0	+ 0
経常利益	384	386	+ 1
機能化学品	258	196	▲ 62
特殊機能材	126	190	+ 63
調整	0	0	+ 0

※ 内訳は、主要製品群別セグメントを記載

三菱ガス化学株式会社

		2025年度3Q累計実績（2024年度3Q累計実績比）	
機能化学品	無機化学品	➡	売上高は前年同期並みとなったが、半導体向け薬液において台湾拠点の生産能力増強に伴う固定費の増加等により減益
	エンジニアリングプラスチック	➡	ポリカーボネートの販売価格下落・販売数量減少により海外拠点の採算が悪化し、減収減益
	光学材料	➡	光学樹脂ポリマーの主用途であるスマートフォン向けの販売数量減少、償却費等の固定費増により減収減益
特殊機能材	電子材料	➡	半導体パッケージ用BT材料において品質対応強化に伴うコスト増加はあったものの、幅広い分野での需要拡大に加え、一部原材料の供給懸念から顧客側で在庫確保の動きが生じた。AIサーバー向け基板材料OPE®の販売数量増加も寄与し、増収増益
	生活衛生ソリューションズ (旧 脱酸素剤)	➡	脱酸素剤における輸出数量の減少や原材料価格の上昇等により、減益

©MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC. | 12

12ページは、機能化学品の第3四半期実績について、前年同期比での業績動向を、主要事業別に示しております。

無機化学品は、売上高は前年同期並みとなりましたが、半導体向け薬液において台湾拠点の生産能力増強に伴う固定費の増加等により減益となりました。

エンジニアリングプラスチックは、ポリカーボネートの販売価格下落・販売数量減少により海外拠点の採算が悪化し、減収減益となりました。

光学材料については、光学樹脂ポリマーの主用途であるスマートフォン向けの販売数量減少、償却費等の固定費増により減収減益となりました。

電子材料は、半導体パッケージ用BT材料において品質対応強化に伴うコスト増加はあったものの、AIサーバー関連を含めた幅広い分野での需要拡大に加え、一部原材料の供給懸念から顧客側で在庫確保の動きが生じた他、AIサーバー向け基板材料OPE®の販売数量増加も寄与し、増収増益となりました。

1 | 2024年度 第3四半期 決算概要

2 | セグメント別 業績概要

3 | 2025年度 業績予想

最後に、2025年度 業績予想についてご説明します。

2025年度 通期 業績予想

- 対前回予想:売上高は据え置き、営業利益+30億円、経常利益+50億円、当期純利益▲10億円

単位:億円	2025年度 前回予想*1	2025年度 今回予想	増 減		2024年度 実績
			金額	%	
売上高	7,300	7,300	-	-	7,735
営業利益	440	470	+30	+6.8	508
経常利益	500	550	+50	+10.0	603
親会社株主に帰属する当期純利益	▲170	▲180	▲10	-	455
*1 2025年11月10日公表					
一株当たり当期純利益(円/株)	▲87.30	▲92.43			228.93
ROE (%)	-	-			6.9
ROIC*2 (%)	3.9	3.9			6.4
為替レート(JPY/USD)	146	150			153

*2 ROIC=(営業利益-法人税等+持分法損益)/投下資本

14ページは2025年度通期 業績予想の概要を示しております。

前回予想比で、売上高は据え置き、営業利益は30億円増益の470億円、経常利益は50億円増益の550億円、当期純利益は10億円減益の180億円の損失を見込んでおります。

通期業績予想のポイントについては、次の15ページでご説明いたします。

- 営業利益、経常利益の主な増減要因
 - (+) BT材料の販売数量増加
 - (+) 為替前提の見直し(円安方向)
 - (-) メタノール市況下落
- 当期純利益の主な増減要因
 - (-) 海外連結子会社(MSCN, 泰興菱蘇)における減損損失
 - (+) 非事業用資産・政策保有株式の売却益 ※第2四半期決算時に示した短期集中改善策として実施
- 期末配当予想:50円(前回予想*を据え置き)

* 2025年11月10日公表

- 為替前提(未経過月): 1ドル155円(前回予想から10円円安)、1ユーロ180円(前回予想から10円円安)
 (為替感応度(USD、概算):1円の円高(円安)で、営業利益5億円/年、経常利益5億円/年の減益(増益))
 (EUR、概算):1円の円高(円安)で、営業利益1億円/年、経常利益1億円/年の減益(増益)
- 原油価格前提(未経過月): 65ドル/bbl。(前回予想比5ドル/bbl. の下落)
 (原油感応度(USD、概算):1ドル/bbl.の上昇(下落)で、3億円/年の減益(増益)、メタノールへの影響は含まず)

15ページに、通期業績予想のポイントを示しております。

営業利益、経常利益につきましては、メタノール市況の下落を見込んでいるものの、BT材料での数量増や為替前提を円安方向に見直したことなどにより、前回予想比で増益を見込んでおります。

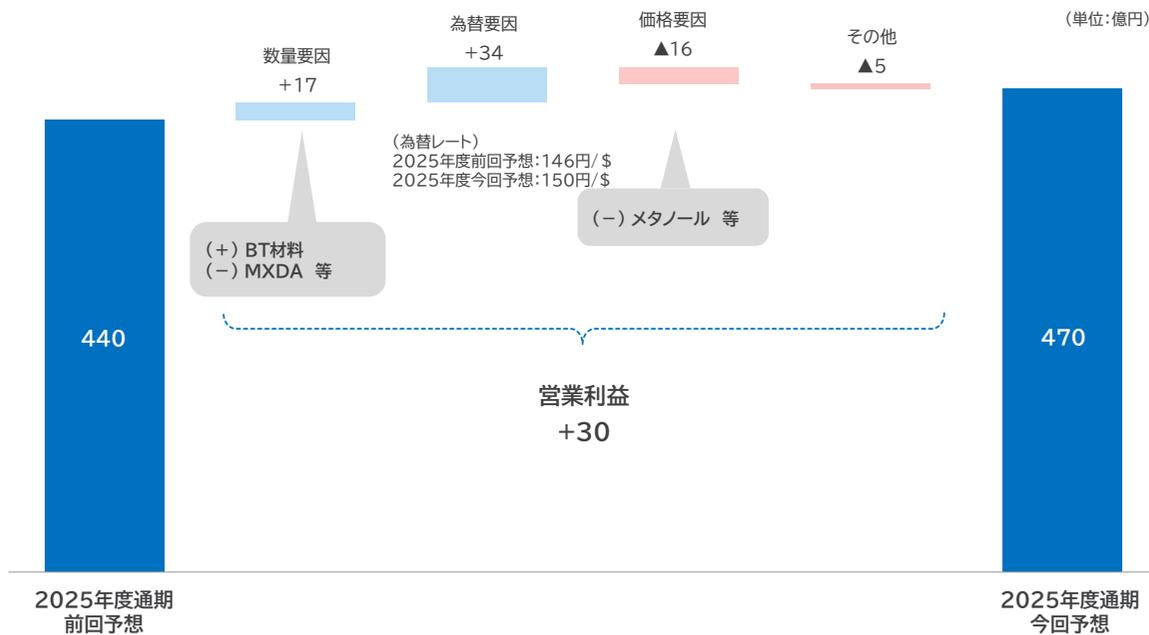
当期純利益につきましては、第2四半期決算にてご説明した短期集中改善策の一環として投資有価証券と非事業用資産の売却益を織り込んでいます。一方、第3四半期にて計上した海外連結子会社の減損損失により、減益を見込んでおります。

なお、期末配当については、前回予想を据え置き、50円を予定しております。

2025年度 通期 営業利益 増減要因(前回予想比)



(単位:億円)



16ページは、前回予想比での、営業利益増減要因を、滝グラフで示しております。後ほど、ご参照願います。

【グリーン・エネルギー&ケミカル(GEC)】

- メタノール: 冬季の天然ガス供給制限による供給減もあり、市況は325ドルへの上昇を予想(3Q:291ドル)
- メタノール・アンモニア系化学品: 新潟工場での定修を終え、MMA系製品中心に堅調な販売を見込む
- MXDA、芳香族アルデヒド: 芳香族アルデヒドは堅調な販売を見込むが、MXDA系製品は引き続き厳しい事業環境が継続
- エネルギー資源・環境: ヨウ素は販売堅調であった第3四半期比で数量減を見込み、減益を予想
- 例年同様、第4四半期に水島工場での定修を予定

【機能化学品】

- 無機化学品: 半導体薬液の需要は回復基調にあるが、新プラント稼働に伴う固定費の増加等により減益を予想
- PC: 汎用品のスプレッドは低迷が継続。第4四半期での固定費増加等を織り込み、減益を予想
- POM: 市況軟化が懸念されるが、販売数量増加により堅調な収益を見込む
- 光学樹脂ポリマー: スマートフォン向け需要は引き続き堅調に推移する見通し
- 電子材料: BTは引き続き旺盛な需要が見込まれる。OPE[®]はAIサーバー向けを中心に堅調な需要を予想

17ページは、第4四半期の営業利益の見通しについて、第3四半期からの変化を示しております。

メタノール市況は325ドルを想定しており、第3四半期から上昇する見通しです。

MXDAや芳香族アルデヒドについて、芳香族アルデヒドは堅調な販売を見込んでおりますが、MXDA系製品は、需要回復の遅れと競争激化により厳しい状況が継続すると見ております。

無機化学品のエレケミは、半導体薬液の需要は回復基調にありますが、新プラント稼働に伴う固定費の増加等により減益を予想しております。

エンプラについて、ポリカーボネートは汎用品のスプレッドの低迷継続を予想するほか、第4四半期での固定費増加等を織り込み、減益の予想です。

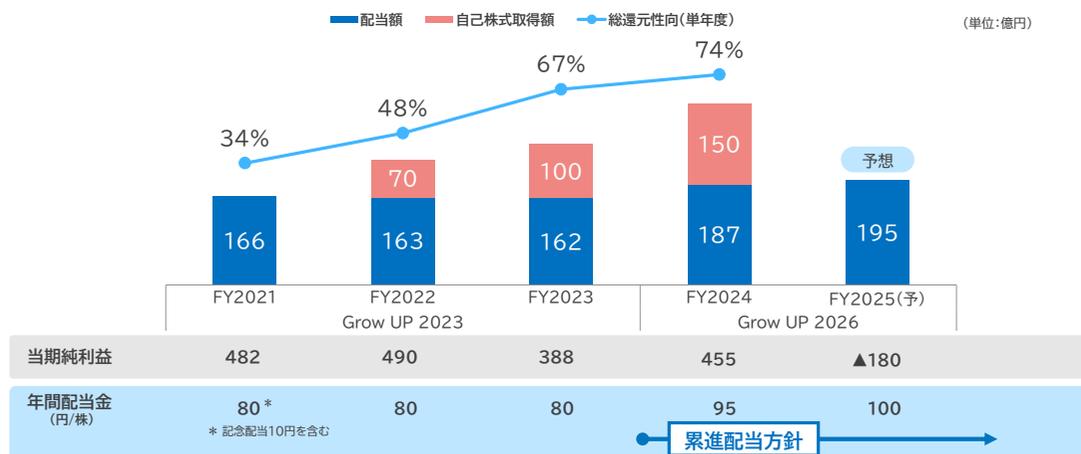
ポリアセタールは市況の軟化が懸念されますが、販売数量増加などにより、引き続き堅調な収益を見込んでおります。

光学樹脂ポリマーは春節影響も予想されるものの、足元の需要予測に基づき堅調な販売を見込んでおります。

BT材は、引き続き旺盛な需要が見込まれるほか、OPEはAIサーバー向けを中心に堅調な需要を予想しております。

2025年度は通期純損失を見込むも、引き続き財務健全性は確保
 中計期間中の株主還元方針*に変更は無く、**前回予想(中間50円、期末50円)を据え置き**
 引き続きBSコントロールを実施し、資本コストの低減および資本収益性の向上を目指す

* 累進配当方針、総還元性向 50%目安、DOE(自己資本配当率)目標値 3%



18ページをご覧ください。

資本政策/株主還元について説明いたします。

今期の業績予想は通期で純損失を見込んでいますが、当社として一定の財務健全性は確保出来ていると考えております。

現中計期間中の株主還元方針である累進配当方針、総還元性向50%目安、DOE3.0%に変更は無く、配当予想につきましても前回予想を据え置いております。

今後もBSコントロールの観点から資本政策および株主還元を検討し、資本コストの低減や資本収益性の向上を目指してまいります。

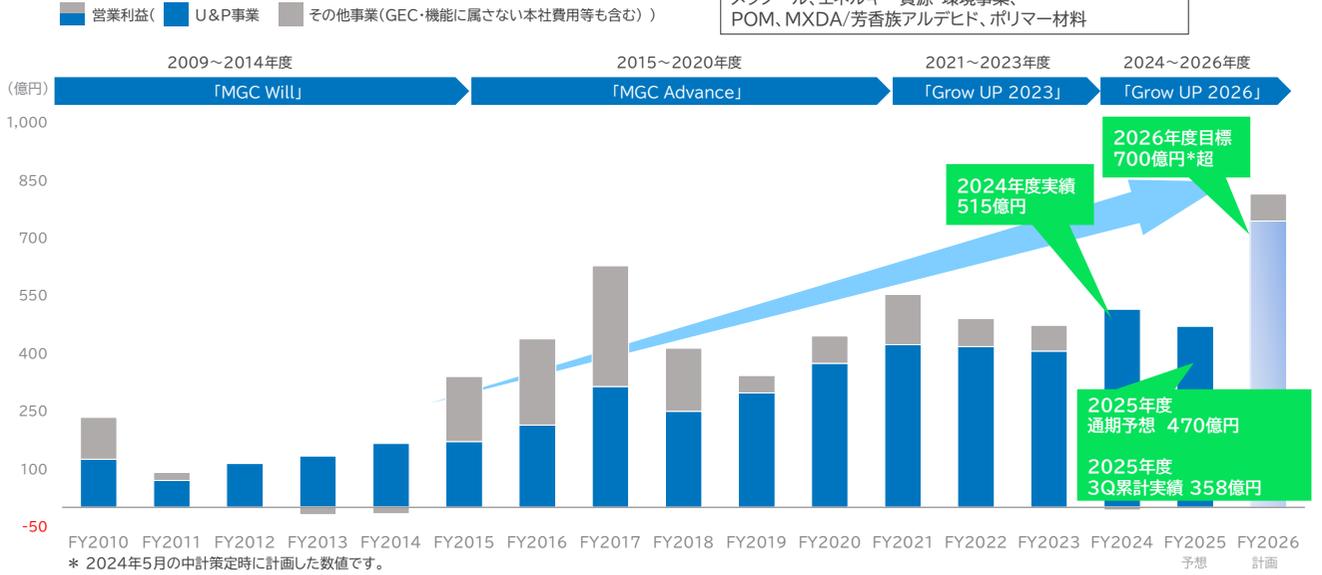
Appendix

Uniqueness & Presence(U&P)事業の営業利益推移

- 成長ドライバーであるICT3事業を中心に、現中計期間に再拡大

U&P事業:中計「GrowUP2026」において経営資源を優先的に配分すべきと評価した以下の事業

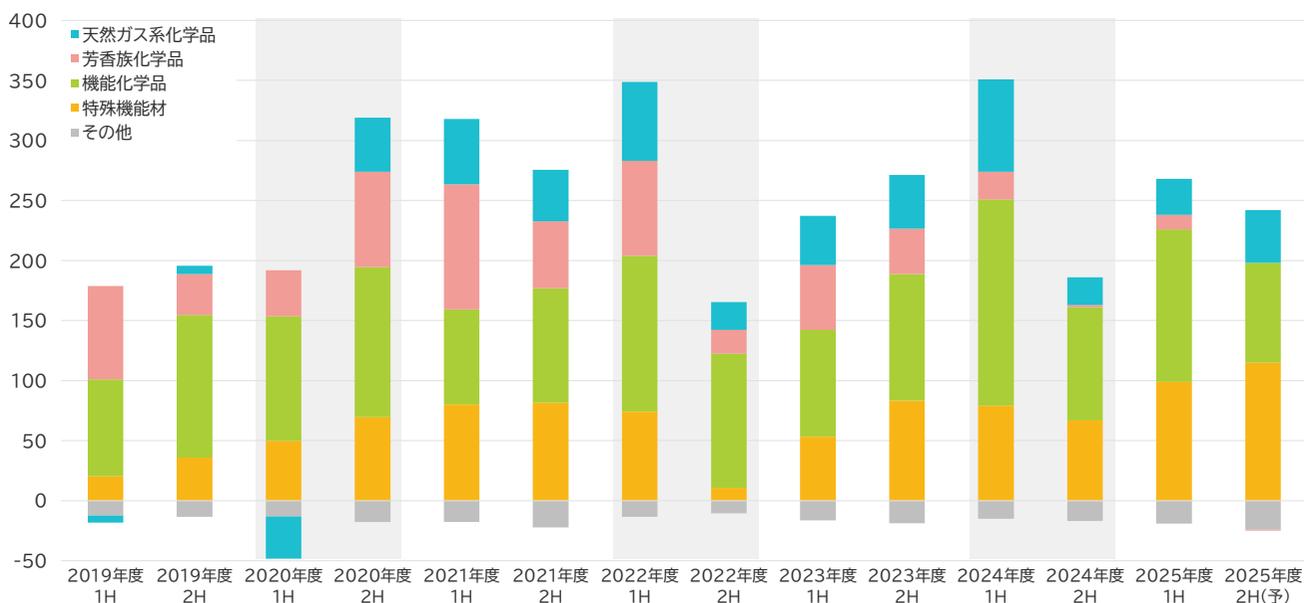
電子材料、無機化学品(EL薬品等)、光学材料、メタノール、エネルギー資源・環境事業、POM、MXDA/芳香族アルデヒド、ポリマー材料



三菱ガス化学株式会社

主要製品群別 営業利益推移

(億円)



※ 便宜的に過去のセグメントに準じて算出した参考値となります。

セグメント別 連結 売上高・営業利益・経常利益推移

単位:億円	2024年度実績			2025年度(実績/前回予想)*			2025年度(実績/今回予想)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期(予)	通期(予)
売上高	3,881	3,854	7,735	3,616	3,683	7,300	3,616	3,683	7,300
GEC	1,639	1,592	3,231	1,411	1,468	2,880	1,411	1,474	2,885
機能化学品	2,229	2,212	4,441	2,199	2,194	4,393	2,199	2,201	4,401
全社/調整	12	49	62	6	19	25	6	6	12
営業利益	337	170	508	251	188	440	251	218	470
GEC	101	26	127	43	37	81	43	43	87
機能化学品	252	161	413	227	177	405	227	198	426
全社/調整	▲15	▲16	▲32	▲19	▲26	▲46	▲19	▲23	▲43
経常利益	374	228	603	314	185	500	314	235	550
GEC	142	62	205	62	41	104	62	33	95
機能化学品	258	180	439	260	167	427	260	205	466
全社/調整	▲27	▲13	▲41	▲7	▲23	▲31	▲7	▲4	▲11

* 2025年11月10日公表

セグメント別 2024年度及び2025年度 四半期別推移



単位:億円	2024年度				2025年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q(予)
売上高	1,881	2,000	1,950	1,904	1,779	1,837	1,877	1,805
GEC	783	855	804	787	682	728	755	719
機能化学品	1,092	1,136	1,134	1,078	1,089	1,110	1,120	1,080
全社/調整	4	8	10	38	8	▲1	2	4
営業利益	157	180	115	55	109	141	126	91
GEC	41	60	28	▲2	19	23	29	14
機能化学品	126	126	99	62	96	130	105	93
全社/調整	▲9	▲6	▲12	▲4	▲6	▲12	▲8	▲15
経常利益	179	194	164	64	138	176	166	68
GEC	45	97	41	21	39	23	31	1
機能化学品	139	119	126	54	99	160	126	79
全社/調整	▲5	▲22	▲2	▲10	▲0	▲7	9	▲13

主要製品群別 連結 売上高・営業利益・経常利益推移



単位:億円	2024年度(実績)			2025年度(実績/前回予想)*			2025年度(実績/今回予想)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期(予)	通期(予)
売上高	3,881	3,854	7,735	3,616	3,683	7,300	3,616	3,683	7,300
天然ガス系化学品	1,195	1,134	2,329	1,045	1,084	2,130	1,045	1,112	2,157
芳香族化学品	449	463	912	368	386	754	368	364	733
機能化学品	1,866	1,840	3,706	1,740	1,746	3,486	1,740	1,708	3,448
特殊機能材	362	372	735	459	448	907	459	493	952
全社/調整	7	43	51	3	17	20	3	4	7
営業利益	337	170	508	251	188	440	251	218	470
天然ガス系化学品	77	23	100	30	33	63	30	43	74
芳香族化学品	23	2	26	12	4	17	12	▲0	12
機能化学品	172	94	266	127	88	216	127	83	211
特殊機能材	79	67	146	99	89	189	99	115	214
全社/調整	▲15	▲17	▲32	▲19	▲26	▲46	▲19	▲23	▲43
経常利益	374	228	603	314	185	500	314	235	550
天然ガス系化学品	110	44	155	40	35	75	40	35	75
芳香族化学品	32	17	49	22	6	28	22	▲1	20
機能化学品	168	110	279	147	77	225	147	77	225
特殊機能材	89	70	159	112	89	202	112	128	240
全社/調整	▲26	▲14	▲41	▲7	▲23	▲31	▲7	▲4	▲11

※ 便宜的に過去のセグメントに準じて算出した参考値となります。

* 2025年11月10日公表

主要製品群別 2024年度及び2025年度 四半期別推移



単位:億円	2024年度				2025年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q(予)
売上高	1,881	2,000	1,950	1,904	1,779	1,837	1,877	1,805
天然ガス系化学品	565	629	552	582	498	546	567	544
芳香族化学品	220	228	254	209	185	183	188	176
機能化学品	910	956	949	890	869	870	860	847
特殊機能材	182	179	184	187	219	239	260	233
全社/調整	1	5	9	34	6	▲3	0	3
営業利益	157	180	115	55	109	141	126	91
天然ガス系化学品	27	49	▲0	24	12	18	22	20
芳香族化学品	13	10	29	▲27	6	5	6	▲6
機能化学品	84	88	66	28	51	76	41	41
特殊機能材	41	38	33	33	44	54	63	51
全社/調整	▲9	▲6	▲13	▲4	▲6	▲12	▲8	▲15
経常利益	179	194	164	64	138	176	166	68
天然ガス系化学品	26	83	▲5	50	30	10	13	21
芳香族化学品	17	14	46	▲29	8	13	17	▲19
機能化学品	90	78	89	20	47	100	48	29
特殊機能材	49	40	36	33	52	60	77	50
全社/調整	▲4	▲22	▲3	▲10	▲0	▲7	9	▲13

※ 便宜的に過去のセグメントに準じて算出した参考値となります。

三菱ガス化学株式会社

©MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC. | 25

2025年度 第3四半期 貸借対照表



単位:億円	2025年3月末	2025年12月末	増 減
流動資産	4,602	4,655	+ 52
現預金	682	694	+ 12
売掛債権	1,578	1,571	▲ 7
棚卸資産	2,075	2,117	+ 42
その他	266	271	+ 4
固定資産	6,594	6,488	▲ 105
有形固定資産	3,665	3,472	▲ 192
無形固定資産	249	240	▲ 9
投資その他の資産	2,678	2,774	+ 96
資産合計	11,196	11,143	▲ 53

単位:億円	2025年3月末	2025年12月末	増 減
負債	4,223	4,439	+ 216
買掛債務	1,030	951	▲ 79
有利子負債	2,139	2,518	+ 378
その他	1,052	969	▲ 82
純資産	6,973	6,704	▲ 269
株主資本	6,007	5,554	▲ 453
その他包括利益累計額	674	822	+ 148
非支配株主持分	291	327	+ 35
負債・純資産合計	11,196	11,143	▲ 53



自己資本比率 57.2% (2025年12月末時点)

参考: 各種指標 (1)

単位: 億円	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度 (予)
設備投資額	350	309	392	423	402	547	646	817	887	820
[3Q累計]	[241]	[232]	[287]	[321]	[267]	[416]	[490]	[626]	[629]	[579]
減価償却費	256	270	274	295	306	319	335	363	346	390
[3Q累計]	[188]	[200]	[203]	[219]	[226]	[239]	[249]	[282]	[282]	[283]
研究開発費	192	189	186	196	199	210	235	256	261	280
[3Q累計]	[142]	[142]	[138]	[140]	[149]	[156]	[171]	[193]	[193]	[195]
年度末人員(人)	8,034	8,009	8,276	8,954	8,998	9,888	10,050	7,918	8,146	8,339
EBITDA*1	894	1,088	976	616	817	1,070	1,050	849	973	972
U&P事業 営業利益	213	314	250	297	374	423	418	406	515	470
ROE(自己資本当期利益率)(%)	12.0	13.6	11.3	4.3	7.1	8.8	8.3	6.1	6.9	-
ROIC(投下資本利益率)*2(%)	9.6	12.1	9.5	3.6	6.2	7.4	6.4	3.3	6.4	3.9
売上高営業利益率(%)	7.9	9.9	6.4	5.6	7.5	7.8	6.3	5.8	6.6	6.4
一株当たり当期純利益 (円/株)	221.8 3	281.39	257.46	100.50	173.41	232.15	239.08	190.97	228.93	▲92.43
一株当たり配当金*4(円/株)	38.00	59.00	70.00	70.00	70.00	80.00*3	80.00	80.00	95.00	100.00
[うち中間配当]	[16.00]	[24.00]	[35.00]	[35.00]	[35.00]	[45.00*3]	[40.00]	[40.00]	[45.00]	[50.00]
総還元性向 (%)	30.1	32.5	27.2	111.4	40.4	34.5	47.9	67.5	74.1	-

*1 EBITDA=経常利益+減価償却費+支払利息 *2 ROIC=(営業利益-法人税等+持分法損益)/投下資本 *3 記念配当10円を含む

*4 当社は2016年10月1日に株式併合(2株→1株)を実施しております。一株当たり当期純利益および配当金については、株式併合前においても当該併合が行われたと仮定した遡及修正による数値を表示しております。

参考：各種指標（2）

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	上期	下期	上期	下期	上期	下期	4~12月実績	1~3月実績	4~12月実績	1~3月予想
為替(JPY/USD)	110	115	134	137	141	148	153	153	149	155
為替(JPY/EUR)	131	130	139	143	153	160	165	161	172	180
原油価格(Dubai) (US\$/bbl.)	69	87	102	83	82	82	79	77	67	65
メタノール (US\$/MT) アジアスポット平均価格	370	428	375	351	297	324	332	341	304	325
原料キシレン(US\$/MT)	780	875	1,105	925	960	910	830	770	690	690
ビスフェノールA (US\$/MT)*	2,750 ~3,700	2,100 ~3,150	1,450 ~2,200	1,250 ~1,700	1,150 ~1,400	1,250 ~1,350	1,200 ~1,350	1,200 ~1,250	1,050 ~1,250	1,050 ~1,250
ポリカーボネート (US\$/MT)*	3,100 ~4,050	2,650 ~3,650	1,950 ~2,900	1,800 ~2,200	1,650 ~1,900	1,700 ~1,900	1,650 ~1,900	1,600 ~1,700	1,500 ~1,650	1,500 ~1,650

* 期間中の最小値および最大値を記載

感応度(概算)

為替(USD) : 1円の円高(円安)で、営業利益5億円/年、経常利益5億円/年の減益(増益)
 為替(EUR) : 1円の円高(円安)で、営業利益1億円/年、経常利益1億円/年の減益(増益)
 原油(Dubai) : \$1/bbl.の上昇(下落)で、3億円/年の減益(増益)、メタノールへの影響は含まず
 メタノール : メタノール市況\$1/MTの上昇(下落)で、持分法利益1億円/年の増益(減益)

各報告セグメントの主要製品



報告セグメント	主要製品群	主要製品(2024年度まで)	主要製品(2025年度以降)
グリーン・エネルギー &ケミカル	天然ガス系 化学品	<ul style="list-style-type: none"> ・メタノール ・メタノール/アンモニア系化学品(アンモニア・アミン類、MMA系製品、ホルマリン・ポリオール系製品、等) ・エネルギー資源・環境事業 	変更なし
	芳香族 化学品	<ul style="list-style-type: none"> ・MXDA、芳香族アルデヒド、ポリマー材料(MXナイロン等) ・キシレン分離/誘導品(メタキシレン、高純度イソフタル酸(PIA)等) 	変更なし
機能化学品	機能化学品	<ul style="list-style-type: none"> ・無機化学品(EL薬品(超純過酸化水素、ハイブリッドケミカル)、過酸化水素等) ・エンジニアリングプラスチック(ポリカーボネート/シートフィルム、ポリアセタール等) ・光学材料(光学樹脂ポリマー、超高屈折率レンズモノマー等) 	変更なし*
	特殊機能材	<ul style="list-style-type: none"> ・電子材料(半導体パッケージ用BT材料等) ・脱酸素剤(エージレス®等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・電子材料(半導体パッケージ用BT材料等) ・生活衛生ソリューションズ製品* (脱酸素剤:エージレス®等) (環境衛生薬品:ダイヤパワー等)

*2025年4月の生活衛生ソリューションズ事業部の設立に伴い、無機化学品のうち環境衛生薬品(医療機器洗浄、飲料容器殺菌、公害対策薬剤)は特殊機能材の主要製品へ移動しました。

- 2025年度第4四半期 決算発表
2026年5月13日(水) 15:30
- 2025年度第4四半期 アナリスト・機関投資家向け 決算説明会
2026年5月13日(水)時間未定
- 経営概況説明会
2026年6月上旬

※上記予定は都合により、予告なく変更となる可能性があります。

見通しに関する注意事項

当資料に記載されている計画、目標等の将来に関する記述は、作成時点において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて判断したものであり、不確実性を内包するものです。実際の業績等は、様々な要因によりこうした将来に関する記述とは大きく異なる可能性があります。

本資料に関するお問い合わせ先

三菱ガス化学株式会社
CSR・IR部 IRグループ

TEL 03-3283-5041

URL <https://www.mgc.co.jp/>



IRメール配信サービス

適時開示やIRに関する最新情報について、
メールでお知らせいたします。ぜひご登録ください。

